

Windows 95でPowerVisionを使うときの制限事項

1. Power VisionのμAPμ部分において、以下の条件の組み合わせによりノイズ混入等の不具合発生する事があります。

- ・録音もしくは再生するデータのサンプリング周波数、サンプリング・ビット数・μAPμの
- ・μAPμのアクセス速度
- ・RAMのEBIY（拡張RAMの容量等なども含む）

上記事項のバランスで、正しく再生出来ない場合はご使用をお控えいただき、下記の手順でAPμを無効にしておいて下さい。

1. 「VxD\EÜ」から「APμ」を選択する。
2. 「APμ\EÜ」の「VxD\EÜ」および「APμ」をダブルクリックする。
3. 「Power Vision(Audio)」をダブルクリックして、「APμを使用しない」を設定する。

2. μAPμ部のアドレスは、以下の種類のみしか選択できません。

0718h,2718h,4718h,6718h,8718h,a718h,c718h,e718h

Windows 95でPowerVisionを使うときの注意事項

PowerVisionのリソース設定は、EPμ部とμAPμ部に分かれています。必要であればEPμとμAPμのそれぞれを「ハードウェアウイザード」で二回に分けて設定してください。このとき、EPμ部の設定が終了すると「シャットダウンしますか？」と表示されますが、μAPμ部も続けて設定する場合は、「いいえ」で終了し、続けてμAPμ部のリソースを設定してください。

また、上記リソース設定が終了しWindowsを再起動したときに

```
「 Power Vision waveform device driver
PowerVisionを認識出来ません。ハードウェアあるいは、
デバイスドライバの設定を確認してください 」
```

とメッセージが表示されることがありますが、Power Visionのセットアップ（インストールディスク1枚目のSetup.exeを起動）が正常終了するまでは、「はい」で終了して進んでください。（セットアップで正しいアドレス設定をしないと上記メッセージが表示されます。）